

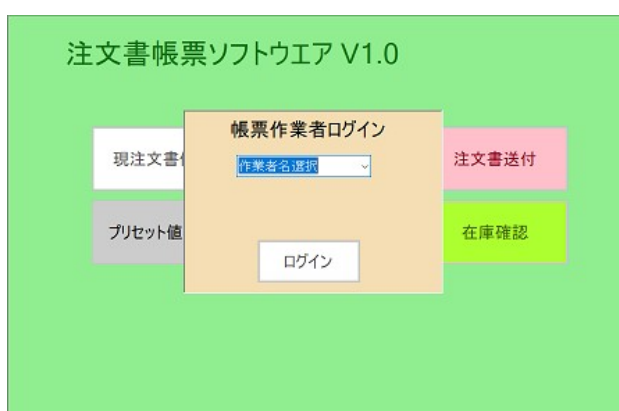
ソフトウェア取扱説明書

委託者(Purchaser)編

委託者編は受発注生産管理システム D-Natsu システムで委託者側が受託者に委託生産を行う際に必要な機能を有している。主な機能は

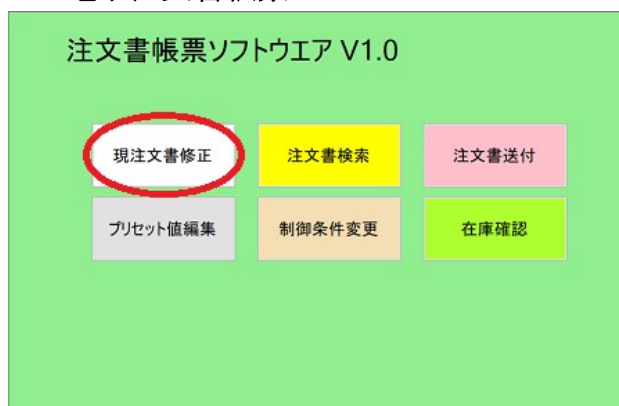
- ①電子注文書の作成、起案、承認
- ②電子注文書の電子送付と納期確認
- ③受託者が保有している在庫情報の電子受領と確認
- ④上記3作業を保佐する補助機能

委託者用をアイコンをダブルクリックするとソフトウェアが起動します。起動すると左図



のような表示が現れます。ここでは作業差名をドロップダウンメニューから選んでください。作業者を特定する為に用いますが、暗証番号の入力は有りません。作業者名を選択した後に「ログイン」のボタンをマウス左ボタンでクリックします。これでログインが完了しました。次は電子注文書の帳票です。新規又は保存中のファイルから選べます。

1. 電子注文書帳票



電子帳票を行うのには左図の赤丸で示したボタンをマウス左ボタンでクリックすると帳票画面に入ります。帳票は利便性を高める為にプリセット値又はプリセット値が無い場合は直接入力可能な様に作られています。

変更する項目はクリックするモードに入りますが、大原則として次の機能が具備されています。

①マウス左シングルクリック

プリセット値が有る場合にコンボボックスで表示されます。コンボボックスから変更する内容を選択します。選択肢が時間の場合は日付選択画面が表示されます。選択肢が金額の場合は変更した金額で再計算が行われます。

②マウス右シングルクリック

プリセット値が無い場合の入力方法でテキストボックスが表示されます。内容を自由に書き込んでテキストボックスをマウス左ダブルクリックすると入力した値に更新されま

す。選択肢が数値の場合、直接新しい値を書き込むか、テキストボックス上でマウスホイールを動かすとテキストボックスの中の数値が変化します。テキストボックスをマウス左ダブルクリックで入力した値で更新されます。

③マウス左ダブルクリック

通常、「決定」を意味します。数値変更用パネルに数値が表示されている場合、表示されている全ての内容で更新する場合に用いられます。

④マウス右ダブルクリック

通常、「破棄」を意味します。数値変更用パネルに数値が表示されている場合、変更を破棄する場合に用います。

帳票画面の初期値として次の様な内容が表示されます。

電子帳票は「表題部」、「注文部」、「承認部」の3部に判れています。選択方法を MHSC=マウス左シングルクリック、MMSC=マウス右シングルクリック、MHDC=マウス左ダブルクリック、MMDC=マウス右ダブルクリックで示します。

1-1. 表題部

表題部は電子注文書の表題を表すもので、注文全体に関わる条件を示します。

1-1. ① 電子注文書帳票の表示

機能： 現在の電子注文書帳票を終了して新規からファイルからの選択を行う。

MHSC：ファイルから電子注文書を選択する。

MMSC：新規の注文書を起こします。未保存の電子注文書が有る場合は保存後に実施

1-1. ② 発注先名

機能：発注先の会社名と住所を選択します。

MHSC：プリセット値をコンボボックスから選択します。

1-1. ③ 発注日

機能：発注日を変更します。(注意：変更後ファイルが2つになります)

MHSC：日付選択ボックスから新しい発行日を選択できます。

MMSC：テキストボックスに直接入力、マウスホイールで日付選択後にMHDCで決定

1-1. ④ 作業差名と所属部署

機能：作業者名と所属部署を個別に入力できます。

MHSC：作業者名プリセット値をコンボボックスで選択

MMSC：テキストボックスに作業者名又は所属部署を直接入力、決定はMMDC

1-1. ⑤ 頁番号

機能：ページ番号を変更します。

現在機能していません。

1-1. ⑥ 納品場所/送付場所

機能：納品場所の選択

MHSC：プリセット値をコンボボックスから選択します。

MMSC：テキストボックスに直接入力し、決定はMHDCで。

1-1. ⑦ 機械名

機能：機械名を選択できます

MHSC：現在機能していません。(コンボボックス選択の予定)

MMSC：テキストボックスに直接入力、入力、MMDCで確定

1-1. ⑧ 支払い条件

機能：支払い条件を変更する

MHSC：支払い条件プリセット値をコンボボックスから選択する。

MMSC：テキストボックスに直接入力、MHDCで確定

1-1. ⑨ 注文番号

機能：注文番号を入力・変更する

MHSC：テキストボックスに直接入力、マウスホイールで変更、MHDCで確定

MMSC：テキストボックスに直接入力のみ、MHDCで確定

1-1. ⑩ 管理番号

機能：管理番号を入力・変更する。

MHSC：管理番号をプリセット値からコンボボックスから選択

MMSC：テキストボックスに直接入力、MHDCで確定

1-1. ⑪ 発注担当者と所属部署名

機能：発注担当者と所属部署名を個別に選定。発注担当者を変更すると所属部署名も変更されるが、その後に所属部署名を変更すると変更した値が残る。

MHSC：担当者プリセット値をコンボボックスで選択する。

MMSC：テキストボックスに直接入力、MHDCで確定

注意：担当者名直接入力の場合、所属部署名は自動変更されません。

1-2. 注文部

注文する物品を記載する部分です。最大6種の部品迄注文ができます。入力方法は各項目を順番に入力して行く方法に加えて、セクション（部品内容、部品価格・数量等、第1納期、第2納期、第3納期）別に入力する方法が容易されています。

1-2-1. 項目毎に入力して行く方法

表題部と同様の入力方法です。項目毎に機能を説明します。納期に付いては尾内操作になりますので第1回部品納期のみで説明します。

1-2-1. ① NO (先頭番号又は注文品番号)

機能：注文品の番号を表します。番号は変更できませんが、次の操作ができます。

MHSC：セクション別変更に用います⇒セクション別変更で説明

MMSC：注文が有効/無効を決定します。無効の時は表示が消えます。

1-2-1. ② コード (部品コード)

機能：部品コードを変更します。コンボボックスから選択された場合は同時に区分、部品名、規格・図番、単価が変更されます。単価変更に伴い、合計が再計算されます。

MHSC：部品コードのプリセット値をコンボボックスから選択します。

MMSC：部品コードをテキストボックスに直接入力、MHDCで確定

注意：部品コードを直接入力で変えた場合、他の項目には反映はありません。

1-2-1. ③ 部品区分

機能：部品区分を変更します。

MHSC：部品区分のプリセット値をコンボボックスから選択します。

MMSC：テキストボックスに直接入力します。MHDCで確定

1-2-1. ④ 部品名

機能：部品名を変更します。コンボボックスでは部品名と擦番が対で表示されます。コンボボックスで選択した場合、部品コード、区分、規格・図番、単価が自動的に変更されます。また、単価がへんこうされた事による再計算が行われます。

MHSC：部品名のプリセット値をコンボボックスを用いて選択します。

MMSC：テキストボックスに部品名を直接入力します。MHDCで確定

注意：テキストボックスを使用して部品名を変えた場合、他の項目への白雨はありません。

1-2-1. ⑤ 規格・図番

機能：規格と図番を変更します。コンボボックスを用いて変更すると同時に、部品コード、区分、部品名、単価が変更されます。

MHSC：規格・図番のプリセット値をコンボボックスを用いて選択します。

MMSC：テキストボックスに直接入力します。MHDCで確定

注意：テキストボックスを使って変更した場合、他の項目に影響は与えません。

1-2-1. ⑥ 注文数

機能：この行で発注される注文総数です。この数字を変えても納期毎の数量には変更さ

れませんが、納期側の数量を変えると、合計値がこの欄に入ります。

MHSC：テキストボックスに直接入力、マウスホイールで数値を変更し、MHDCで決定

MMSC：なし

1-2-1. ⑦ 単価

機能：部品の単価を変更します。

MHSC：単価のプリセット値をコンボボックスより選択する。他項目への影響はなし。

MMSC：テキストボックスに直接入力、入力は¥マーク有り、無しが可

1-2-1. ⑧ 小計

この項目は自動計算される為、変更入力はできません。

1-2-1. ⑨ 第1部品納期 希望納期

意味：委託者が希望する部品納期。最大3回に分けて納品が可能

機能：第1希望納期の入力又は変更

MHSC：日時選択画面より日付を選択する

MMSC：テキストボックスに直接入力か、マウスホイールで変更し、MHDCで決定。”MM月DD日”の形式で入力する。

1-2-1. ⑩ 第1部品納期 数量

意味：第1希望納期に必要な部品数

機能：部品数を変更する

MHSC：テキストボックスに直接入力、マウスホイールで変更、MHDCで決定

MMSC：なし

注意：この値が変更されると関係する値が全て再計算されます。

1-2-1. ⑪ 第1部品納期 回答納期

意味：受託者が回答する納期。委託者が指定する場合は回答期限を示す。

機能：回答納期を変更します。

MHSC：日時選択画面より日付を選択する

MMSC：テキストボックスに直接入力か、マウスホイールで変更し、MHDCで決定

1-2-2. セクション毎の変更

幾つかの項目はお互いに連動している為、セクション毎の変更が可能です。セクション

部品内容				
NO	コード	区分	部品名	規格・図番
1	M000610	11	アンプ	250AD-5S

毎の変更を行う場合はセクションを示すボックスをMHSCし、次に変更したい注文番号の戦闘番号をMHSCします。

上図は部品内容をセクション変更する為に「部品内容」のボックスをMHSCした状態です。次に先頭番号、例えば1をMHSCすると変更用パネルが現れます。注文が有効になっていない場合でも正しい数値が入力された後は注文が有効になります。注文を無効にする場合は先頭番号をMMSCすれば、表示が消去されて注文が無効になります。

しかし、納期関所んの場合は納期の追加/削除の機能が含まれます。下図の様に納期が既に

第1 部品納期			第1 部品納期		
希望納期	数量	納期回答	希望納期	数量	納期回答
19年03月18日	13	19年03月18日			

表示されている場合、納期が削除されます。同一操作をもう一度行うと納期が有効になって、納期変更パネルが表示されます。セクション変更用のパネルは全てマウスによる移動が可能です。移動する場合はマウス左ボタンを押し、ドラッグして、移動させたい場所でマウスを話すと移動が止まります。

1-2-2. ① 部品内容セクション

下図は部品セクションを変更する為のパネルです。ここで変更できる内容は部品コード

部品内容				
NO	コード	区分	部品名	規格・図番
1	部品コード : M000610			
2	部品区分 : 11 部品在庫 : 0			DSP
3	部品名 : アダプター			DSP
4	規格・図番 : 250AD-5S			DSP

のみです。部品コードをMHSCするとコンボボックスが合わられますので、部品コードを選択します。部品コードを変更するか変更

が無い場合はパネルをMHDCすると「承認」ボタンが現れます。このパネルには現在の

部品内容				
NO	コード	区分	部品名	規格・図番
1	部品コード : M000640			
2	部品区分 : 11 部品在庫 : 0			DSP
3	部品名 : アダプター			DSP
4	規格・図番 : 250AD-NAN-KM			DSP

在庫数が表示され須野で、在庫数を確認の上、発注数を決定できます。承認のボタンをMHSCするとこの内容が注文内容に反映されま

す。画面には氷河が有りませんが、単価も変わる為、プリセット値が採用されます。また、単価が変更になる為、関係する数値が再計算されます。

1-2-2. ② 部品価格・数量等セクション

このセクションでは特定部品の総数と単価が変更できます。単価はプリセット値と異なる場合に変更するもので、変更が無ければ部品コード設定時に設定されています。

部品価格、数量等			第1部
注文数	単価	小計	希望納期
注文数：20個	単価：9200.00円	9200.00	3月18日
			3月18日
			3月18日

左図は部品価格・数量等セクション変更パネルです。数量を変更する場合は注文数の表示を MHSC し、テキストボックスが現れたら直接数値を入力するか、マウスホイールで変更し、MHDC で決定します。

単価は左図の様に MHSC でプリセット値をコンボボックスから、MMSC でテキストボックスに直接入力で入力し、MHDC で決定します。数値が変更されるか、変更

が無い場合はパネルを MHDC で、「承認」のボタンが表示されます。

部品価格、数量等			第1部
注文数	単価	小計	希望納期
注文数：26個	単価：9200.00円	小計：239200.00円	3月18日
			3月18日
			3月18日
承認			

承認のボタンを MHSC するとこの内容が反映されます。同時に関連する数値は再計算されます。

ご注意：単価は一時的に変更する事は出来ませんが、単価元帳を変更する事をお勧め致します。

1-2-2. ③ 納期セクション

納期は3式有りますが、どれも同じ操作方法なので、第1部品納期を例に説明します。

第1部品納期			第2部
希望納期	数量	納期回答	希望納期
第1希望納期：19年03月18日			19年03月26日
第1納品数量：0個			
第1回答納期：19年03月18日			19年03月18日
			19年03月18日

納期が有効になると左図のい様なパネルが表示されます。希望納期と回答納期の初期値は作業をしている日付です。数量はその部品の注文総数から他の有効納期の合計数を引いたものが表示されます。

また、納品数量が変更されるとその部品の注文総数が全ての有効納期の合計数になります。希望納期、数量、回

答納期とも変更が可能です。

- 希望納期：MHSC で日図家変更ボックスが表示され、日付選択ができます。
- 数量：MHSC でテキストボックスが表示されますので、直接入力かマウスホイールで

変更で変更してから、MHDC で確定します。

- ・ 回答納期：MHSC で日図家変更ボックスが表示され、日付選択ができます。

第1 部品納期			第2
希望納期	数量	納期回答	希望納期
第1希望納期：19年03月18日			19年03月26日
第1納品数量：3個			
第1回答納期：19年03月18日			19年03月18日
確定			19年03月18日

数値を変更するか、変更が無い場合はパネルをMHDCすると確定ボタンが表示されます。確定日時ボタンをMHSCすると内容が反映されます。この時、注文が有効になっていない場合は表示がされませんのでご注意ください。

1-3. 承認部

承認部はこの注文書を有効化する為に必要な電子印を押す事で承認することができます。

必要承認レベル：課長	担当者承認印欄	課長承認印欄	部長承認印欄	社長承認印欄

承認レベルの変更は「承認レベル」をMHSCするとドロップダウンメニューが現れますので、レベルを選択します。上図は課長迄の承認を設定した場合です。

必要承認レベル：課長	担当者承認印欄	課長承認印欄	部長承認印欄	社長承認印欄
	森山利章			

電子承認印は色が変わっている部分をMHSCするとドロップダウンメニューが表示されますので、名前を選びます。電子印が押されると名前と日付が記載されます。

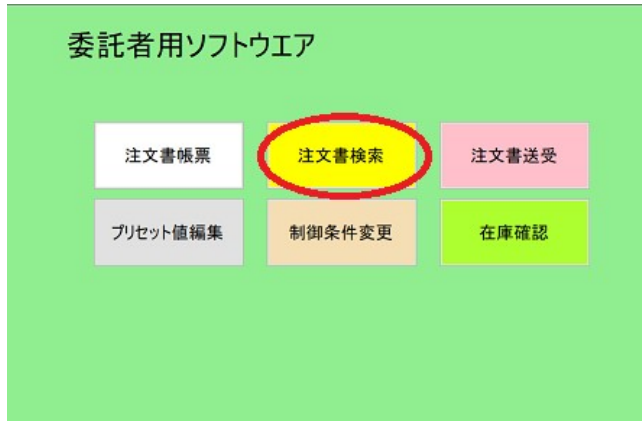
必要承認レベル：課長	担当者承認印欄	課長承認印欄	部長承認印欄	社長承認印欄
	森山利章	長田裕之		
	2019年03月26日	2019年03月26日		

担当者に続いて課長が電子印を押します。これで注文書は完成となります。

メインメニューに戻るにはステータスバー上の「戻る：MHSC」としてメインメニューの表示が現れます。

2. 注文書の選択

編集する電子注文書を検索する場合はこの機能を使います。メインメニューからは「注



文書検索」をMHSCします。

検索方法は「ドライブ」⇒「年」⇒「月」⇒「注文番号」の順で検索して行きます。探している電子注文書が見つからない場合、一つ前の検索項目に戻って検索を再開できます。

2-1. 電子注文書保存方法について

電子注文書には処理状況を示す指標が付属していて、この指標が電子注文書のファイル名の一部になっている為、同じ注文番号でも処理状況によって複数存在します。処理状況指標は全部で10段階あり、処理が進むに連れて自動的に切り替わって行きます。電子注文書個々のファイル名は

【処理状況指標（2桁）】「作成年月日（YYYYMMDD）】【注文番号（任意桁数）】

また、電子注文書名が処理状態で異なる為、背景色で処理状態を確認できます。左図の例

19年03月15日 注番76018 開始前	19年03月10日 注番76018 注文書が完成	19年03月15日 注番76018 注文書が完成
-----------------------------	--------------------------------	--------------------------------

では3月15日に作成した注番76018が開始前と注文書完成（上長確認済み）の2つがある事を示しています。

2-2. 電子注文書の検索方法

下図が電子注文書の選択画面です。緑で示された枠が選択可能な選択肢になります。

選択を実施すると枠が水色に変わり下位の候補が表示されます。最後に電子注文書のファイル名が表示されますので、MHSC で選択します。候補が表示されていない場合は⇒ボタンをMHSCして候補を再表示させます。

選択が終わると選択画面が消え、電子注文書の表示が現れます。

3. 電子注文書の送信と受信

電子注文書を受託者に送る場合及び送付済みの電子注文書に対して受託者から納期回答



された注文書を受領する際にこの機能を使用します。

送付する電子注文書は個別選択方式で内容を確認した上でドラッグアンドドロップ方式で送付します。電子注文書の受信も受信ボタンの採用で最大9受信毎に分けて処理が可能です。「注文書の送受」をMHSCすると起動起動します。

3-1. 電子注文書送信受信方法の基礎

送信又は受信する電子注文書は最大各9ファイル迄登録が可能です。

3-1-1. 送信用ボックス

9個ある総し尿ボックスの内、最初のボックスは作業中の電子注文書が登録されます。以下8個のボックスは電子注文書検索を行って登録します。各ボックスに対して次の操作が出来ます。

MHDC： 電子注文書選択画面が開き、送信したい電子注文書が選択されると選択された電子注文書が登録されます。**電子注文書が登録されてないと以下の機能は作動しません。**

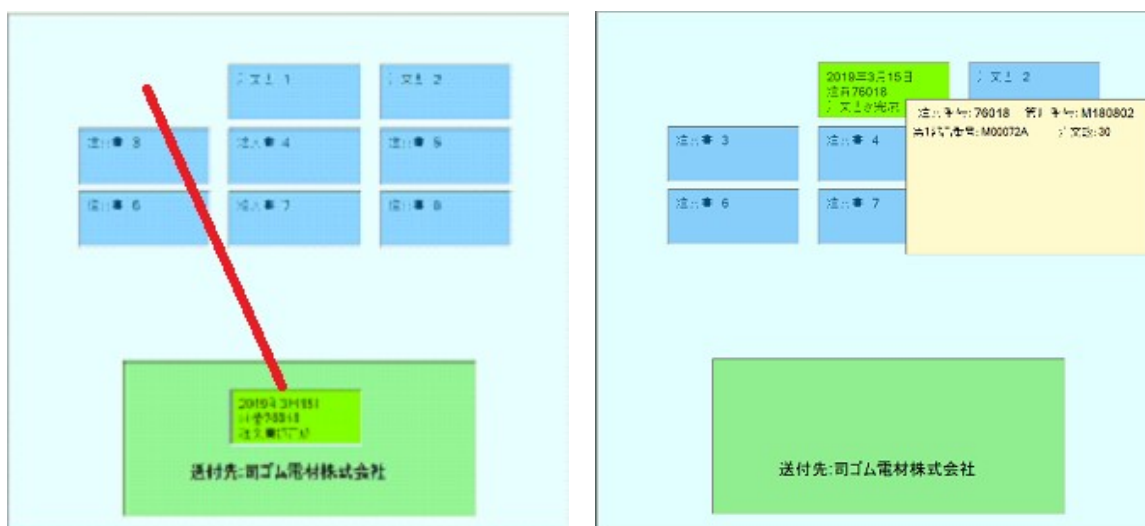
MHSC： 送信したい電子注文書を登録したボックス上でマウスを押し下げた状態で、マ

マウスを移動するとボックスも移動します。送付先ボックスの上でマウスを離すと送付先へと送信されます。送付先ボックス上以外でマウスを離すと送信用ボックスがその位置に固定されますが、マウスが送信用ボックスから離れると送信ボックスは元の位置に戻ります。MMSC：送信用ボックス上でマウス右ボタンを押すと登録されている電子注文書の概略が表示されます。マウスを離すと表示は消えます。

下図に電子注文書の送信受信の初期画面を示します。



下左図は総し尿ボックスを送信先ボックスにドラッグあんどドロップし、送信先に送信しました。下右図は送信ボックスに登録された電子注文書の内容を表示しています。



電子注文書が支障なく送信された場合、画面上部に送信された時間が表示されます。また、処理状況指標を「送付済み」に変更して電子注文書が保存されます。

3-1-2. 受信用ボックス

画面右上の「注文書受信」ボタンをMHSCすると到着している注文書が受信用ボックス

に最大9個迄登録されます。受信が9個以上の受信がある場合、最初の9受信が適切に処理された後に「注文書受信」ボタンを再度押すと次の9受信が登録されます。



左図は最初に「注文書受信」ボタンを押した時の表示です。5個の受信があった為、最初の5受信ボックスに登録されています。受信用ボックスの表示は送信用ボックスと同じで、背景色は受信した時の処理状況指標を反映した色になっています。一度に受信できる電子注文書の数は最大9個です。9個以上受信している場合、最初の9個を保存処理してから、「注文書受信」ボタンを押して、次の9個を登録します。また、受信した電子注文書の数だけ受信用ボックスが復元されます。

3-2. 受信した電子注文書の保存

受信した電子注文書を保存する方法には2方法があります。下左図は個々にドラッグアンドドロップする方法、下右図は一括保存をする方法を示しています。



3-2-1. ドラッグアンドドロップ方式

受信した電子注文書を確認しながら保尊していく方法で、マウスを用いて個々に所存処理します。

MHSC: 保存したい電子注文書を格納した受信用ボックスをマウス左ボタンでドラッグし、受領元ボックスの上でドロップすると電子注文書が発注月のフォルダーに保存される。

MMSC: 受信用ボックスをマウス右ボタンで押すと、押している間だけ登録されている電子注文書の内容が概要表示される。但し、受信登録の無い受信用ボックスは除く。(作業

中)

3-2-2. 一括保存

受信した電子注文書を確認しないで保存する場合は「全て保存」ボタンを使います。このボタンをMHSCすると受信登録のある受信用ボックスの電子注文書が全て発注月別フォルダーに保存されます。

3-3. 処理状況指標の更新

受信した電子注文書が保存される際に処理状況指標が「納期回答あり」に変更されます。電子注文書内ので各注文部品の納期については電子注文書を表示して、その内容確認が必要です。再確認する場合、同一の電子注文書を再送付して納期確認をします。

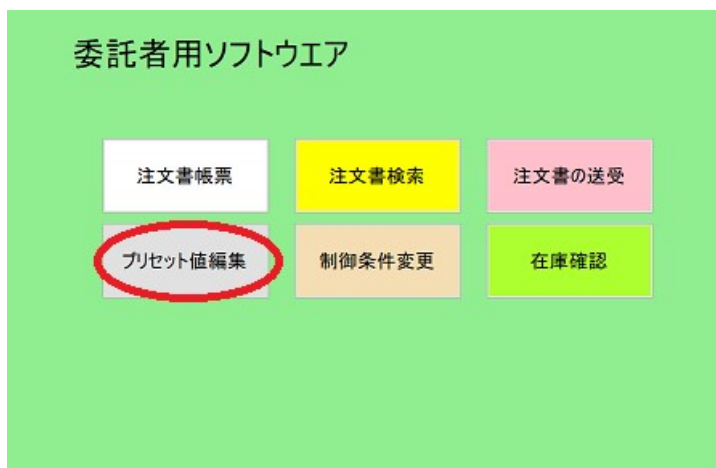
3-4. 終了時の保存確認

電子注文書の送信受信の終了時に受信登録されているのにも関わらず保存されていない受信用ボックスがあった場合、最終確認が行われます。保存せずに終了できますが、その内容は完全に失われます。

同様に受信登録された受信ボックスがある場合、「注文書受信」ボタンを押しても拒否され、注意のメッセージが表示されます。保存処理を行った上で、再度「注文書受信」ボタンを押すと新たに受信した電子注文書が登録されます。

4. プリセット値変更

プリセット値とは顧客固有の情報の内、ソフトウェアに事前に埋め込まれている情報を言います。その中には製品情報（型式、図番、区分、単価等）、人員情報（名前、所属、



埋め込まれた情報で再度ファイルが作成されます。